

Session Report Rejection 手順

- 機能の概要と変更履歴 （1 ページ）
- 機能説明 （1 ページ）
- OAM のサポート （3 ページ）

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	5G-UPF
該当プラットフォーム	VPC-SI SMI
機能のデフォルト設定	有効：常時オン
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	*UCC 5G SMF* 構成およびアドミニストレーション ガイド

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
最初の導入。	2021.02.0

機能説明

SMF は、SMF と UPF の課金設定に不一致がある場合、特定の原因コードで UPF が発信したセッション レポート要求を拒否します。

SMF によるセッション レポートの拒否の場合、UPF はローカルでセッションを消去します。SMF は消去処理を認識せず、N4 メッセージを UPF に送信し続けます。このアクションにより、ローカルでパージされたセッションの SMF に「コンテキストが見つかりませんでした」というメッセージが UPF が送信されます。

この動作は、UE エクスペリエンスに影響を与え、課金データが失われます。そのため、セッション レポート エラーの処理の現在の実装は、UPF でのセッションのローカル消去を回避し、セッションのグレースフル クリアをサポートするように変更されています。

この変更により、UPF はセッション レポート エラー応答を無視します。SMF がセッション削除要求をトリガーし、その後セッション レポートの拒否が続きます。UPF は削除要求に応答し、セッションをグレースフルにクリアします。

他の機能との関係

この機能には、SMF と UPF にいくつかの動作変更を実装することが関係しています。SMF の新しいCLI構成は、この動作を制御するのに役立ちます。SMF の動作変更の詳細については、『*UCC 5G SMF* の構成およびアドミニストレーション ガイド』の「*Session Report Rejection* 手順をサポートする」章を参照してください。

通話フロー

次の図は、Session Report Rejection 手順のフローを説明しています。

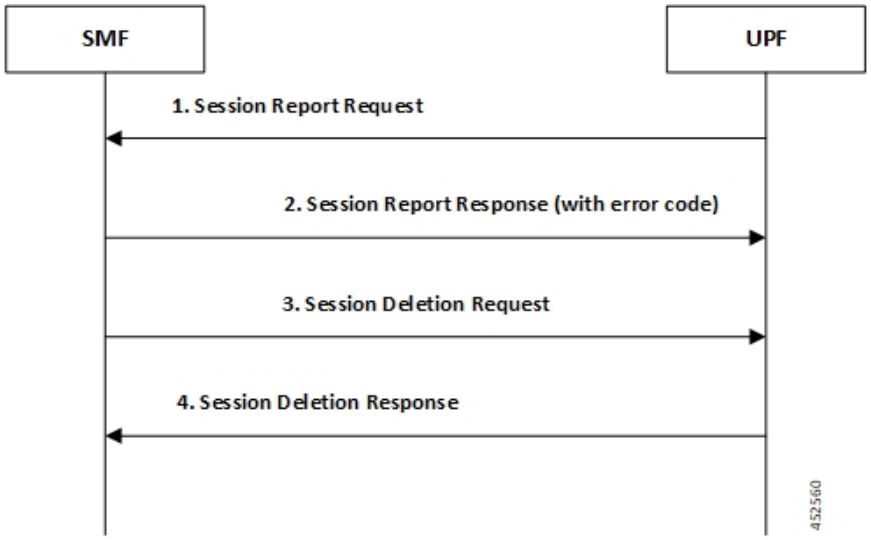


表 *1 : Session Report Rejection* 手順コールフロー

ステップ	説明
1	UPF が、Session Report メッセージを SMF に送信します。 （SX_SESSION_REPORT_REQUEST）

ステップ	説明
2	SMF は、いくつかのエラーコードでメッセージを拒否します。 （エラーコード付き SX_SESSION_REPORT_RESPONSE）
3	UPF は、Session Report エラー応答を無視します。 SMF は、Session Delete 要求を開始して、セッションを正常に切断します。 （SX_SESSION_DELETION_REQUEST）
4	UPF は削除要求に応答し、セッションを正常にクリアします。 （SX_SESSION_DELETION_RESPONSE）

OAM のサポート

ここでは、この機能の操作、管理、およびメンテナンスに関して説明します。

Show コマンドや出力

show user-plane-service statistics all

カウンタ「Skapped Local Purge」が、「理由による PDN リリース」項の **show user-plane-service statistics all** CLI コマンドに追加されました。

- **スキップしたローカル消去**：SMF/CP から UPF/UP にセッションレポートエラーがトリガーされると増分します。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。